

2012年10月18日

内閣総理大臣
野田佳彦 様

新日本婦人の会
会長 笠井 貴美代

**米海軍兵による女性暴行事件に
満身の怒りを込めて抗議し、
米軍基地の即時閉鎖・撤去、安保条約の廃棄を求めます**

沖縄県警は16日未明、女性に集団暴行をおこなった米海軍兵の男2人を緊急逮捕しました。2人の米兵は酒を飲み、帰宅途中の女性に交互に性的暴行を加え、さらに、首にけがを負わせたという、許しがたい卑劣な事件です。

米兵による女性の人権、尊厳を傷つける卑劣な事件は何度も繰り返されています。女性の人権も尊厳も理解できないこのような集団が、沖縄および日本に駐留することはもはや許されません。

新日本婦人の会は、米海兵隊員による女性集団暴行事件に対し、満身の怒りを込めて抗議します。

さらに米軍は、墜落事故を繰り返すオスプレイを強行配備し、住宅地や子どもたちが通う学校の頭上で、我がもの顔で「転換モード」「離着陸モード」で飛行しています。日本政府は、米政府になりかわり「安全宣言」をおこない、守らないことを前提にした「合意」をおこなっただけで、文字通り、「アメリカいいなり」です。

いまこの時も、沖縄では、いのちや人権が脅かされ、傷つけられているのです。

日本政府のおこなうべきは、「綱紀粛正」などではなく、米軍基地の即時閉鎖・撤去を要求することであり、オスプレイの即時飛行中止を求めることではないでしょうか。

新日本婦人の会は、重ねて事件に抗議するとともに、安保条約の廃棄を求めます。